

# 総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成26年度)

## 2. 分野等別状況 (1) 国際戦略総合特区(3/7)

	評価区分(※)	評価結果 (ⅠとⅡとⅢの平均値)	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
			目標に向けた取組の進捗に関する評価	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	総合評価	
関西イノベーション 国際戦略総合特区 (大阪府等)	正	4.1	4.3  進捗度 ・特区支援制度活用による医薬品・医療機器関連設備投資額 87%  ・特区支援制度活用による医薬品・医療機器の薬事申請数 100%  ・関西のリチウムイオン電池等新型蓄電池の輸出額 108% 等	4.3  規制の特例等 ・医薬品・医療機器等の輸出入手続きの電子化・簡素化 等  財政支援等 ・投資促進税制支援 15件 等  地域独自の取組 ・「大阪バイオファンド」によるベンチャー支援 等	3.6	<p>・医薬品医療機器設備投資額、関西での医薬品医療機器の生産額については、目標額に届かないものの着実に進捗している。この分野での投資額は増えていることから、今後の生産額の増大を期待したい。</p> <p>・関西のリチウム電池等新型蓄電池の輸出額、太陽電池の生産量については、目標値を上回っているが、特区制度の寄与度が明示的に説明されておらず、総合特区としての成果として客観的に判断しにくい。</p> <p>・規制緩和を活用した事業や財政・税制・金融支援の活動について多くの実績が示されているが、特区の本来の目標に沿って実施されたものがどれだけあるのか明らかでない。</p> <p>・自治体同士の組織的連携、ライフ分野・グリーン分野の分野間連携が見て取れないため、連携促進に期待したい。</p>

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)

※「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。